

平成25年度「重点研究費」研究成果報告書

研究課題	東京学芸大学の教職実践演習における e ポートフォリオ活用に関する実践的研究
------	--

研究代表者

氏名 森本 康彦	所属 情報処理センター	職名 准教授
-------------	----------------	-----------

研究分担者

氏名 なし	所属	職名

【研究成果の概要】 (文字の大きさ9ポイント・字数800字～1600字程度)

平成25年度の秋学期から教職実践演習の実施が始まった。教職実践演習では、4年間を通して育成された、テストだけでは測れない多面的な能力を統合的に評価する必要がある。そこで、信州大学や奈良教育大学、北海道教育大学などの多くの大学では、eポートフォリオを新たに導入し、教師(または保育士)に必要な知識技能全体をいかに身に付けることができたかを評価するシステムを構築している。しかし、本学の教職実践演習においては、紙ベースのポートフォリオを主たる手段として採用しているため、ポートフォリオとして蓄積されたこれら情報群は一つのバインダーに綴じられ管理される。よって、本人以外の教員や仲間同士がそれら情報群にアクセスすることは物理的に難しく、相互作用が期待される教育活動は授業内の限られた時間と空間に制限されてしまうため、協働的かつ省察的学習による教育効果の向上は期待できない。そこで、本研究では、教育実践演習で扱う紙ベースのポートフォリオを電子的にeポートフォリオとして扱うことを目指し、既存の基盤システムを用いた教職実践演習の学習・評価支援のためのシステム活用方法について確立し、実践、検証することを目的とした。

具体的には、北澤武先生と研究代表者(森本)が担当したA類情報の4年生19人の授業で実践を行った。授業は、教職実践演習の共通シラバスに従い、毎回の授業で学内の基盤システムを活用しながら行われた(表1)。使用したシステムは、教職ポータルを起点に、WebClassと授業リフレクションシステム、履修カルテシステムであり、毎回の授業では、シラバスによって義務づけられた学習成果物の作成・提出のほか、グループ討議・発表の記録、授業の振り返りの記録などを適宜蓄積し活用した。授業後のアンケートの結果、既存の基盤システムを駆使することで既定の教職実践演習のシラバスに則った授業を効果的に実施することができ、さらに、教員と学生同士が協働的に学び合うコミュニティを構築できることが明らかになった。

表1 教職実践演習のシラバスとeポートフォリオとの対応

	授業タイトル	当該 e ポートフォリオ	使用した主な ICT
第1回	オリエンテーション	振り返りシート	WebClass(eポートフォリオ機能)
		チェックリスト	WebClass(資料機能)
		履修カルテ	履修カルテシステム
第2回	教師として必要な知識技能についての省察(応用実習を振り返って)	応用実習レポート	WebClass(eポートフォリオ機能)
第3回		応用実習から「学んだこと」と「活かすこと」【グループ討議・発表】	WebClass(eポートフォリオ機能)
第4回	教師像・教職観 子ども理解・学級経営力 学習共同環境づくり①	第4回講話感想	WebClass(会議室機能)
第5回		第5回講話感想	WebClass(会議室機能)
第6回	第4・5回のまとめ	まとめ【グループ討議・発表】	WebClass(eポートフォリオ機能)
第7回	教師像・教職観 子ども理解・学級経営力 学習共同環境づくり②	第4回講話感想	WebClass(会議室機能)
第8回		第5回講話感想	WebClass(会議室機能)
第9回	第6・7回のまとめ	まとめ【グループ討議・発表】	WebClass(eポートフォリオ機能)
第10回	授業観察(電子黒板)	授業リフレクション記録	授業リフレクションシステム
第11回	模擬授業(電子黒板)	授業評価【グループ討議】	WebClass(eポートフォリオ機能)
第12回	授業観察(実物投影機)	授業リフレクション記録	授業リフレクションシステム
第13回	模擬授業(実物投影機)	授業評価【グループ討議】	WebClass(eポートフォリオ機能)
第14回	本授業のまとめ	振り返りシート	WebClass(eポートフォリオ機能)
第15回		最終レポート	WebClass(eポートフォリオ機能)

研究成果発表方法

[発表論文名（口頭発表を含む）、氏名、学会誌等名（投稿中・投稿予定・執筆中）を記入する。]

※本経費を用いて、報告書（冊子等）を作成した場合には、本様式とともに1部を提出すること。
なお、提出された報告書は教育実践研究推進本部を通じて附属図書館へ寄贈する。

本研究は、今年度開催される教育工学を主体とする学会で発表を行い、学術論文として投稿することを予定している。

- ・日本教育工学会 第30回全国大会 口頭発表（岐阜大学，2014年9月19日～20日）
- ・日本教育工学会論文誌特集号「教員養成・現職教育の新しい展開」（2015年2月4日〆切）